

調査協力をお願い

私は、国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 言語聴覚分野 博士課程 2 年の佐々木ゆり と申します。このたび下記の内容で調査研究を実施することとなりました。本研究は、2025 年度に小学校特別支援学級に在籍するお子さんを指導・支援している言語聴覚士(ST)の方を対象にしております。ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、本研究にご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

1. 研究課題名

「言語聴覚士と特別支援学級担当教員における児童の指導・支援を検討する際の視点の相違:ビネット調査による検討」

2. 目的

本研究は、ST と特別支援学級担当教員が児童の指導・支援を検討する際の視点の相違を把握することを目的としています。研究の結果、それぞれの職種の役割の明確化や子どもの適切な支援、さらに特別支援学級担当教員とのより良い連携体制の構築に貢献することを目指しています。本研究は、国際医療福祉大学の承認(承認番号:25-TA-187)を得ています。

3. 研究対象および研究方法

研究対象：2025 年度に小学校特別支援学級に在籍する児童を指導・支援している ST の方

- * お子さんの障害種、支援内容等についての条件はありません。
- * 医療機関・放課後等デイサービス事業所・フリーランス等でお子さんを定期的に指導・支援している方、教育委員会の巡回相談や保育所等訪問支援等で学校を訪問して児童を支援している方など、どのような枠組みでお子さんを指導・支援していても構いません。

研究方法：無記名の自記式質問紙調査

4. 調査実施期間

2026 年 1 月 25 日(日)～2 月 28 日(土)

5. 研究概要

調査票では、特別支援学級に在籍する小学生の模擬事例 2 例について指導・支援を検討する際に、調査項目をどの程度重視されるかなどを尋ね、ご回答いただきます。調査に要する時間 15 分程度です(個人差があります)。

6. 研究説明書

添付の PDF にて詳細をご確認いただけます。

7. 研究にご参加いただける場合

下記の入力フォームより、お名前・ご住所・メールアドレスのご入力をお願いします。研究実施者からご指定いただいた場所へ調査票と返送用封筒をお送りいたします。

<https://forms.gle/Sy1vJbYsuGsrxqXE9>



8. お問い合わせ先

国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 言語聴覚分野
博士課程 2 年 佐々木ゆり(研究実施者) E-mail: 24s3031@giuhw.ac.jp